

## ◆ 宮島の巖島神社よりお 迎えした神様がいます

つつじヶ丘駅の北側、柴崎駅との中間辺りに位置するのが巖嶋神社です。甲州街道からは北に400メートルほどの参道が続いています。

創建年代は不詳ですが、社前に清らかな湧水の池があり、農耕や生活に不可欠な水に住民が感謝の念を込め、池のほとりに祠(ほこら)を建てて弁財天を祀ったのが始まりと言われています。

御祭神は『市杵志麻比咩命(イチキシマヒメノミコト)』。弁財天に結びつく神、宗像三姉妹のお一人で、この三神を祀る安芸国宮島の巖島神社からお迎えしました。

神社はまた、「経水山」と墨書された木額を所蔵しており、裏書には文政12年(1829)、金子村氏子中と記されています。「経水山」の名は、この弁天池の水で弁慶が般若経を書写したという伝説に基づくとされています。



📍 参道入口の社号標



拝殿



一の鳥居(奥に二の鳥居)



境内



青面金剛像庚申塔(1777年建立)

## 🔪 注目ポイント

巖嶋神社には、二対の狛犬がいます。一対は江戸時代・文政12年(1829年)11月に奉納、もう一対は大正時代(1919年1月)に奉納されたもの。



雰囲気まったく違う狛犬。どっちがどっちかな？探してみてね！

